

文化



え・岡本 幸子

鷗外の浦島伝説と近代

名。時空を超えたこの物語を鷗外は、近代の浦島伝説として描いていたのだ。

『舞姫』発表の数カ月前、鷗外はアーヴィングの『リップ・ヴァン・ウィンクル』の訳を、『新世界の浦島』と名付けて発表している。ドイツ語版からの翻訳だった。ドイツ民話に基づいた機知に富んだこの作品は、アメリカ文学

鷗外はこの訳業が、『舞姫』の構想に濃い影を落とすことになった。

母から父の国へ

「永遠の少年」の面影は、『舞姫』の主人公にいつそう明らかだ。そもそも日本近代文学には父のモデルがいなかった。豊太郎も例外ではない。一人っ子の彼の帰りを楽しみ待つのは母であつた。エリスとの出会いも、エリスの父の死の報がもたらされる。母の死が自死であることが暗示され、親友が大臣とともに現れて、妻を捨てて帰国するよう

かつて豊太郎を拒絶し、代国家日本が、恋を棄てを、有為の人材として迎れる。こうしてわれらの公を待っていた「母の国」の父の国へと性を転換す第一師団軍医部長となつた。発表した鷗外三つ目の『玉露阿浦嶼』の浦島

「おこと(あなたは怪われは人)。男女の性差く浦島は、「なまげ」をするに、男は仕事をする。おこととを棄てると言る。家父長制度の確立に、女の愛を切り捨てるは、近代国家が生んだ新男である。

官長の不興を買った主人公は免職となり、故国の母の死の報がもたらされる。母の死が自死であることが暗示され、親友が大臣とともに現れて、妻を捨てて帰国するよう

女と恋の命奪った家父長制の確立

の始まり、アメリカ神話の遺産といわれている。山で迷子になり、別世界に迷い込んだ好人物のリップ。夢から覚めて故郷に帰ると、政治体制は変わり、口うるさい妻も死んでいった。男に対して期待される責任を回避するといふ「永遠の少年」の夢の実現。下敷きになったドイツ民話では、リップには妻などいなかった。妻の登場によって作者はリップの物語をアメリカの神話に変質させたのである。



よみがえる浦島伝説

語り手の前に広がる夜の海が彼の物語の世界に重なる。「三百年」前の遺跡に立つ美少女。色を「濃する」とされた豊太郎が、「大洋に舵を失ひしふな人」であること。欧州大都の人の「海」に葬られることを恐れる主人公に突きつけられた故国が恋かという選択。豊太郎、舞姫という命

通信

インド舞踊劇「不可触賤民の娘」(チョンダリカ) 日印国交樹立50周年、岡倉天心・タゴール邂逅100周年、タゴール学園創立100周年を記念する催し。「チョンダリカ」は、アジアで初のノーベル文学賞を受賞したタゴール原作の舞踊劇。差別な

「石炭をば早や積み果てつ」。『舞姫』の物語が幕を開けるのはこの一行からである。東に帰る船旅の途上、語り手は夜、停泊中の船に一人残り、手記を認める。夜の太陽の運行になぞらえられる主人公の苦難の旅。この物語はユングのいう元型の一つ、「夜の航海」の型を持つ。

浦島伝説と舞姫

ベルリンは鷗外『舞姫』の舞台である。ブランドンブルグ門の上に浮かぶ女神像、菩提樹下の広い街路。東西を隔てた壁の崩壊はその秋のことだった。



東邦学園短期大学教授 坂田 千鶴子

さかた・ちつこ 1942年生まれ。東京大学大学院修士課程修了。著書に『女が読む日本近代文学』フェミニズム批評の試み(共著)、『よみがえる浦島伝説』(女性文化賞受賞)など。

これはもう去の物語にたのだから。始まったばかりの二十世紀。伸びやかな両性の翼私たちに示唆してくれは、古代、『丹後風土記』伝える浦島伝説の永遠のたちである。

語り手の前に広がる夜の海が彼の物語の世界に重なる。「三百年」前の遺跡に立つ美少女。色を「濃する」とされた豊太郎が、「大洋に舵を失ひしふな人」であること。欧州大都の人の「海」に葬られることを恐れる主人公に突きつけられた故国が恋かという選択。豊太郎、舞姫という命